

30 銀のしょく台

教材の解説かいせつ

町までの長い道のりを歩くとちゅう、刑務所けいむしょを出て間もないジャン・バルジャンをとめてくれたのは、ミリエル司教だけでした。司教の家で休んでいたジャン・バルジャンは、食事のときに見た銀の食器をぬすみ出し、お金にすることを考え始めました。



ジャン・バルジャン



ミリエル司教